

知財ist(チサイスト)になろう!

一般社団法人
発明推進協会

9

月の知的財産スポット講座

商品・パッケージのデザイン、 商標の保護と最適な権利取得

～商標法・意匠法・不競法・著作権法、どの法律を使って守るのがベストなのか?商品の特性に合わせた選択の考え方～

難易度
中級



平成27年9月17日(木) 10:00～17:00

講師 青木 博通氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆商品の売れ行きを左右する商品やパッケージのデザインと商標を、如何に効果的に保護するか、意匠法、商標法、不正競争防止法、著作権法に分けて、出願のバリエーション、各保護要件、侵害判断基準について説明します。

◆また、各法律による保護のメリット・デメリットを解説して、商品・パッケージデザインの種類に応じた複合的な使い分けについて解説します。

◆そして、最後に、米国、欧州、中国における保護の留意点についても、商標・意匠の国際登録制度と合わせて解説します。

<解説内容>

I パッケージデザインの種類

1. パッケージ(箱、ボトル)
2. ラベル(文字、図形、キャラクター)
3. その他(商品の形状、タッチポイント、広告)

II 意匠法による保護

1. 出願の種類(部分、関連、組物、秘密、動的意匠)
2. 権利取得上の留意点
3. 裁判例と侵害判断基準

III 商標法による保護

1. 文字・図形・立体・色彩・動き・ホログラム・位置・音による保護
2. 権利取得上の留意点
3. 裁判例と侵害判断基準

IV 不正競争防止法による保護

1. 3つの保護のバリエーション(混同、著名、デッドコピー)
2. 保護要件
3. 裁判例と適用例(パッケージの稀釈化)

V 著作権法による保護

1. 著作物性
2. 保護要件
3. 裁判例と侵害判断基準(トリップトラップ知財高裁判決)

VI 各法律の保護のメリット・デメリットと使い分け

VII 事例研究

VIII デザインによるブランド確立

IX 海外における保護の留意点

1. 米国(デザイン特許、コモン・ロー)
2. 欧州(欧州共同体商標規則・同意匠規則)
3. 中国(不競法の整備が遅れている、主役は意匠)
4. 商標・意匠の国際登録(WIPO)

◇本講座は、企業や法律・特許事務所における実務経験2年～5年の方々にとって、最適な講座です。

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◆日時:平成27年9月17日(木) 10:00～17:00

◆会場:発明会館7階 研修ルーム

◆定員:50名

◆講師:青木 博通氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料:会員16,500円・一般19,000円

◆申込:FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「研修のご案内」)